

# 第2四半期決算説明資料 (2010年度)

2010年 12月 3日



# 2010年度 第2四半期 決算概要

## 2010年度 第2四半期累計期間の総括

●当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国などの新興国の景気回復に伴う生産及び輸出の増加や政府による景気刺激策の効果等により、景況感に緩やかな改善の兆しが見られました。その一方で、海外経済の減速や景気刺激効果の一巡、急激な円高や株価低迷などの影響が懸念され、景気の先行きは、依然として不透明な状況が続くものと見込まれます。

●このような不透明な経済状況の中、当社の呼吸用保護具の受注状況は、期初から営業活動強化に注力したことから、主要顧客である民間製造業の受注は相応に回復傾向となり、当第2四半期累計期間の売上高は、36億77百万円（前第2四半期累計期間比75百万円増）となりました。

●一方、費用面では、引き続き生産効率の向上や製造経費削減に積極的に取り組みましたが、前年度に緊急避難的に実施した一連の固定費削減策の一部解除や新製品開発に伴う減価償却負担増などから、製品製造原価率は67.2%と前第2四半期累計期間の65.7%から悪化しました。また、国内外の営業活動強化に伴う支出増などもあり、販売費及び一般管理費も増加しました。

●以上の結果、当第2四半期累計期間の利益面は、営業損失4百万円（前第2四半期累計期間は16百万円の利益）、経常損失31百万円（前第2四半期累計期間は14百万円の損失）、四半期純損失は23百万円（前第2四半期累計期間は7百万円の純損失）となりました。

●第3四半期以降につきましても、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く経営環境も厳しい状況が続くと思われませんが、引き続き全社一丸となつて、業績伸展に取り組んでまいります。

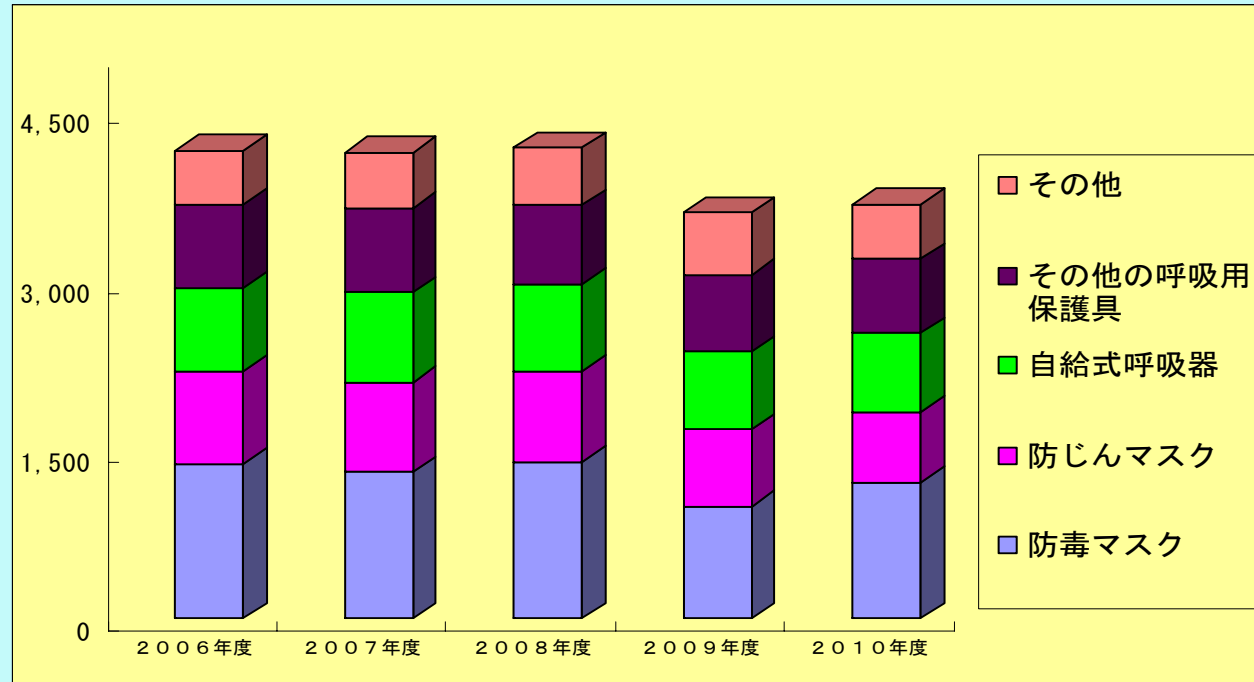
## 2010年度第2四半期累計期間 損益の状況

(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	09年度第2四半期	10年度第2四半期	前年同期間比増減	備 考
売 上 高	3,601.6	3,677.0	75.4	期初からの営業活動強化や景況感に緩やかな回復傾向が見られたこともあり、売上高は前年同期間比、約2%の増加となりました。
製品製造原価	1,679.9	1,763.4	83.5	前年度に緊急避難的に実施した一連の固定費削減策の一部解除や新製品開発に伴う減価償却負担増などにより、製品製造原価率が悪化した結果、売上総利益は前年同期間比、約2%の増加に止まりました。
商品原価	848.1	819.7	△28.4	
売上原価	2,528.1	2,583.1	55.0	
売上総利益	1,073.5	1,093.9	20.4	
販売費及び一般管理費	1,057.9	1,097.6	39.7	国内外の営業活動強化に伴う支出増が、期初からの経費節減予定額を上回り、販売費及び一般管理費は増加しました。
営業利益	15.6	△3.7	△19.3	前年同期間比、受取利息・受取配当金・支払利息・手形売却損については、全て減少しています。
営業外収益	20.4	20.4	0.0	
営業外損失	50.3	47.4	△3.0	
経常利益	△14.3	△30.6	△16.3	
特別利益	14.5	0.7	△13.8	特別利益・損失ともに特筆すべき事項等はありません。
特別損失	1.9	0.2	△1.8	
税引前四半期純利益	△1.7	△30.1	△28.4	
法人税、住民税及び事業税	3.3	5.4	2.1	以上の結果、当第2四半期累計期間の純損失は、前年同期間より悪化しましたが、期初の予想(40百万円の純損失)よりは改善することができました。
法人税等調整額	2.3	△12.8	△15.1	
四半期純利益	△7.4	△22.7	△15.3	

## 第2四半期累計期間の品種別売上高推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

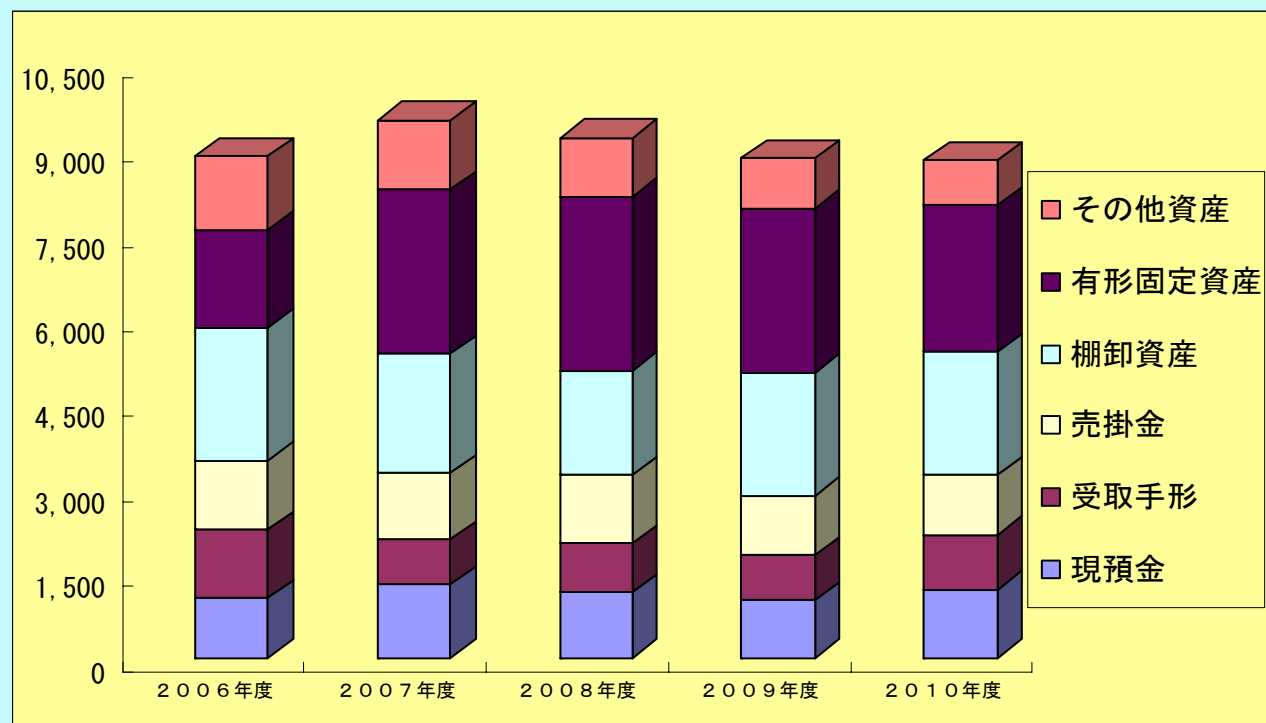
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
防毒マスク	1,367.6	1,299.7	1,394.9	992.3	1,211.2
防じんマスク	828.9	797.6	799.3	686.1	618.3
自給式呼吸器	741.6	798.8	778.2	689.7	704.1
その他の呼吸用保護具	732.3	749.2	694.1	688.7	657.9
その他	482.2	495.2	512.0	544.8	485.6
合計	4,152.6	4,140.4	4,178.5	3,601.6	3,677.0

## 当第2四半期累計期間の特徴

- ① 当第2四半期累計期間におきましては、期初から営業活動強化に注力したこともあり、前年同期間比、75百万円の売上増加となりました。
- ② 防毒マスクは、主要顧客である国内製造業からの相応の受注回復基調に加え、米国経済の復調に伴う米国スリーエムカンパニーへのOEM製品の輸出増もあり、前年同期間比、2億円以上の増加となりました。
- ③ 一方、防じんマスクは、前年度に大きな社会問題となった新型インフルエンザへの対応受注が沈静化したこともあり、前年同期間比、約70百万円の減少となりました。

## 第2四半期末の主要資産状況推移

(単位：百万円)



## 当第2四半期末の特徴

- ① 現預金の残高は、前第2四半期末比では2億円増加していますが、これは借入のタイミング等によるものです。
- ② 売上債権（受取手形＋売掛金）は、売上高の増加を反映して、前第2四半期末比では増加しています。
- ③ 棚卸資産は、前第2四半期末比及び前期末比とも増加しています。これは、いずれも第3四半期以降の売上に備えたものです。
- ④ 当第2四半期累計期間では大型投資は行っておらず、減価償却の進捗により、有形固定資産は減少しています。
- ⑤ その他資産については、株式市況の低迷による投資有価証券の減少や繰延税金資産の減少等により、全体としては減少しています。

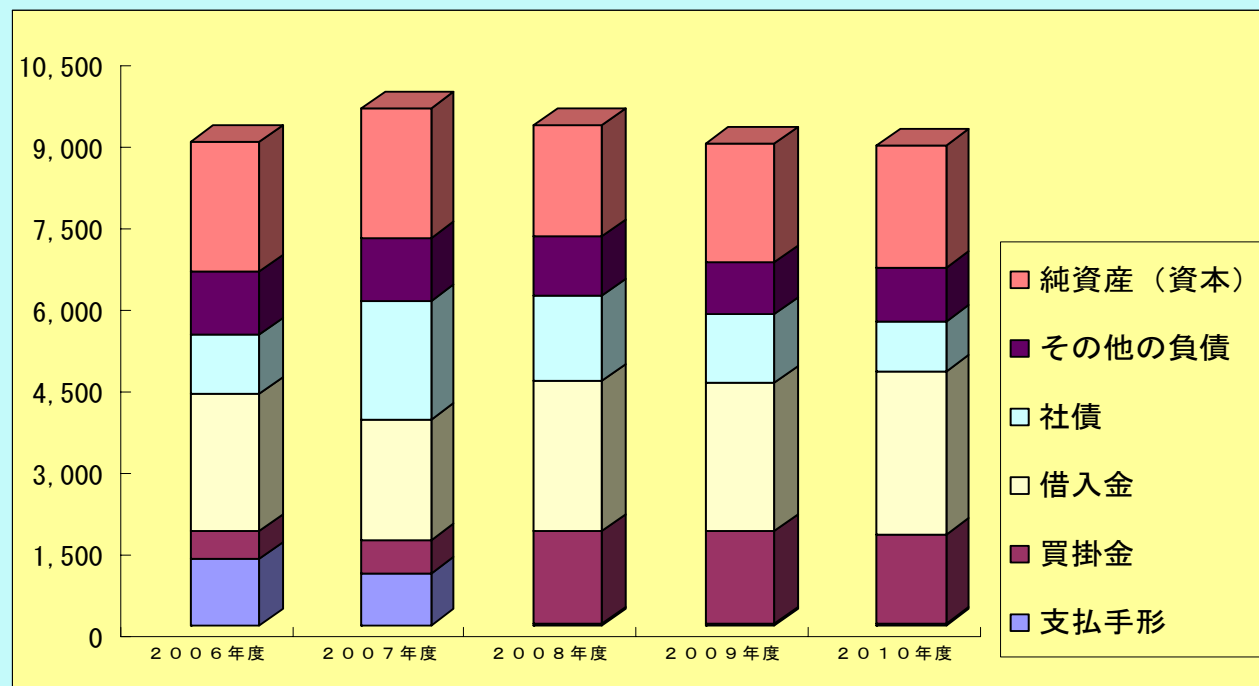
単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
現預金	1,061.9	1,294.4	1,163.3	1,013.2	1,213.9
受取手形	1,196.0	789.5	867.9	796.6	968.5
売掛金	1,229.5	1,179.2	1,207.9	1,056.7	1,044.5
棚卸資産	2,346.4	2,118.0	1,834.2	2,176.9	2,186.8
有形固定資産	1,725.1	2,890.2	3,080.0	2,898.6	2,584.1
その他資産	1,303.8	1,224.3	1,034.6	883.7	800.0
合計	8,862.8	9,495.7	9,187.9	8,825.7	8,797.8

注： 本表における受取手形には、手持受取手形その他、債権売却未収入金の受取手形を含んでいます。債権売却手形（資金化分）は、簿外のため含まれていません。

## 第2四半期末の主要負債・純資産状況推移

(単位：百万円)



### 当第2四半期末の特徴

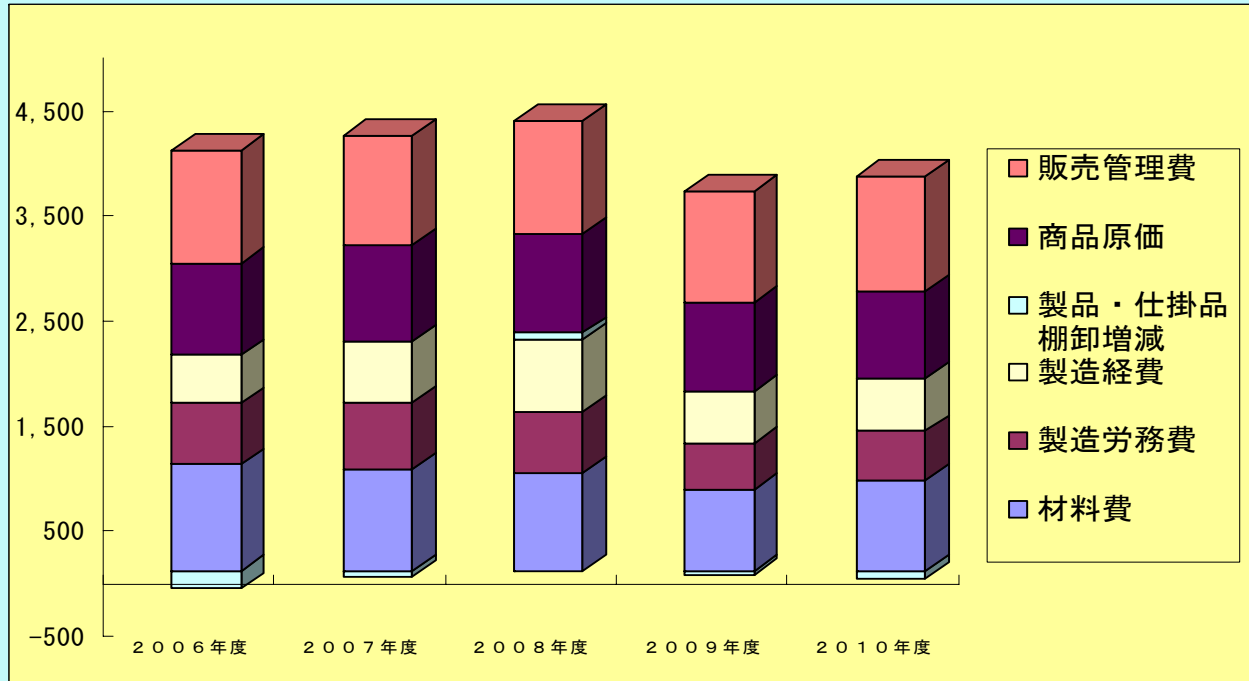
- ① 支払債務（支払手形＋買掛金）は、ここ数年、多少のばらつきはありますが、ほぼ同一の残高傾向にあります。
- ② 借入金は、長期資金の借り換えもあり、前第2四半期末比では増加しました。社債は、約定どおり定時償還が進捗しています。
- ③ 当第2四半期累計期間は、22百万円の純損失となったものの、前年度決算が大幅増益だったこともあり、純資産（資本）は、前第2四半期末比、約90百万円増加しています。

単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
支払手形	1,209.7	945.7	37.6	23.0	38.3
買掛金	533.4	617.2	1,696.8	1,717.5	1,622.8
借入金	2,493.0	2,212.0	2,752.7	2,711.7	2,998.2
社債	1,100.0	2,160.0	1,576.6	1,242.8	909.0
その他の負債	1,149.3	1,180.6	1,074.8	975.6	986.5
純資産(資本)	2,377.5	2,380.2	2,049.5	2,155.1	2,243.0
合計	8,862.8	9,495.7	9,187.9	8,825.7	8,797.8

## 第2四半期累計期間の売上原価・販売管理費状況推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
材料費	1,015.2	970.6	940.0	779.4	861.6
製造労務費	582.3	636.8	582.2	433.1	471.4
製造経費	457.2	575.4	682.3	500.7	505.5
製品仕掛品棚卸調整	△168.9	△58.2	64.0	△33.4	△75.1
商品原価	876.2	927.2	947.3	848.1	819.7
販売管理費	1,076.1	1,039.0	1,070.6	1,057.9	1,097.6
合計	3,838.2	4,090.8	4,286.3	3,586.0	3,680.7

## 当第2四半期累計期間の特徴

- ① 材料費は、前年同期比、金額的に増加し、製品売上に占める材料費の比率も、前年同期間の30.5%から当四半期累計期間は32.8%と、悪化しました。

製造労務費については、前年同期間に緊急避難的に実施した一連の固定費削減策の一部解除等もあり、当第2四半期累計期間では、増加傾向に転じてきています。

製造経費については、前年度同様に徹底した諸経費削減策を今年度も継続実施した結果、ほぼ前年同期間と同じ水準を維持しました。

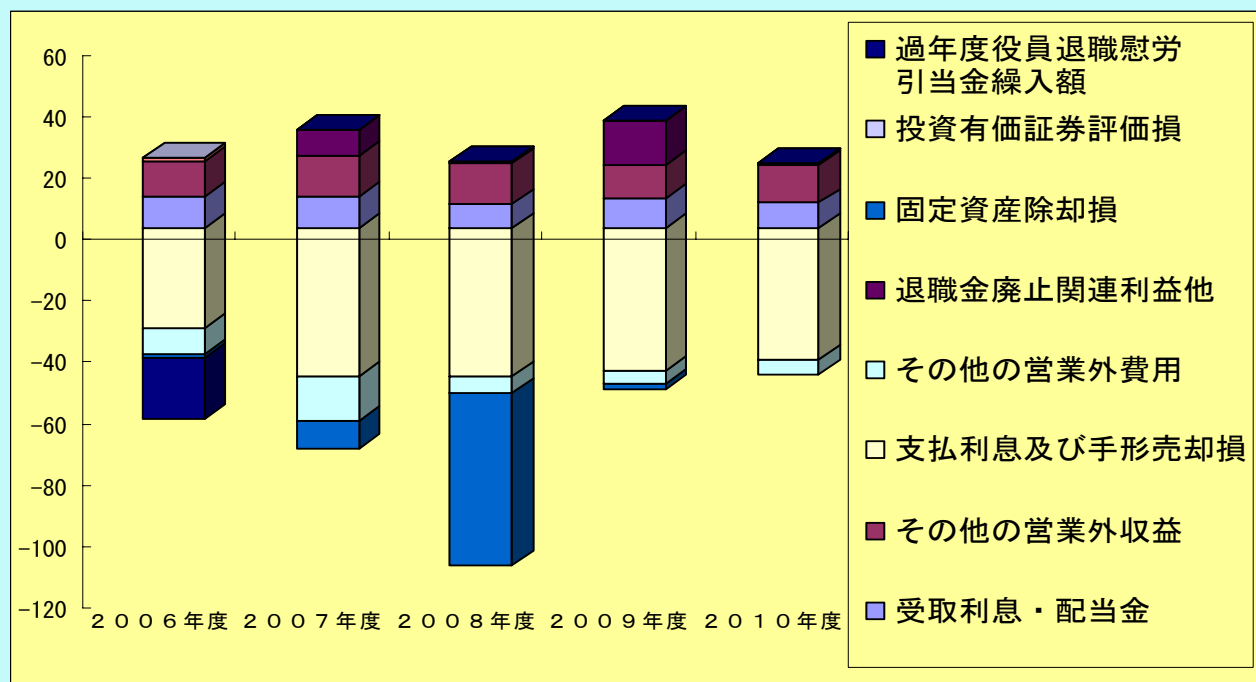
- ② 商品原価については、効率的な商品仕入に注力したことから、売上は微増にもかかわらず金額は減少しました。この結果、商品売上高に対する原価率は78.0%と、約3ポイント改善しました。

- ③ 販売費及び一般管理費については、国内外の営業活動強化に伴う支出増などもあり、増加傾向に転じてきています。



## 第2四半期累計期間の営業外・特別損益推移

(単位：百万円)



## 当第2四半期累計期間の特徴

- ① 営業外収益では、受取利息及び保有株式の受取配当金ともに、減少傾向にあります。
- ② 借入金、社債及び割引手形の合計残高は、前年同期間比減少しており、支払利息及び手形売却損は減少しています。
- ③ 当第2四半期累計期間での特別利益・損失については、特筆すべき事項等はありません。

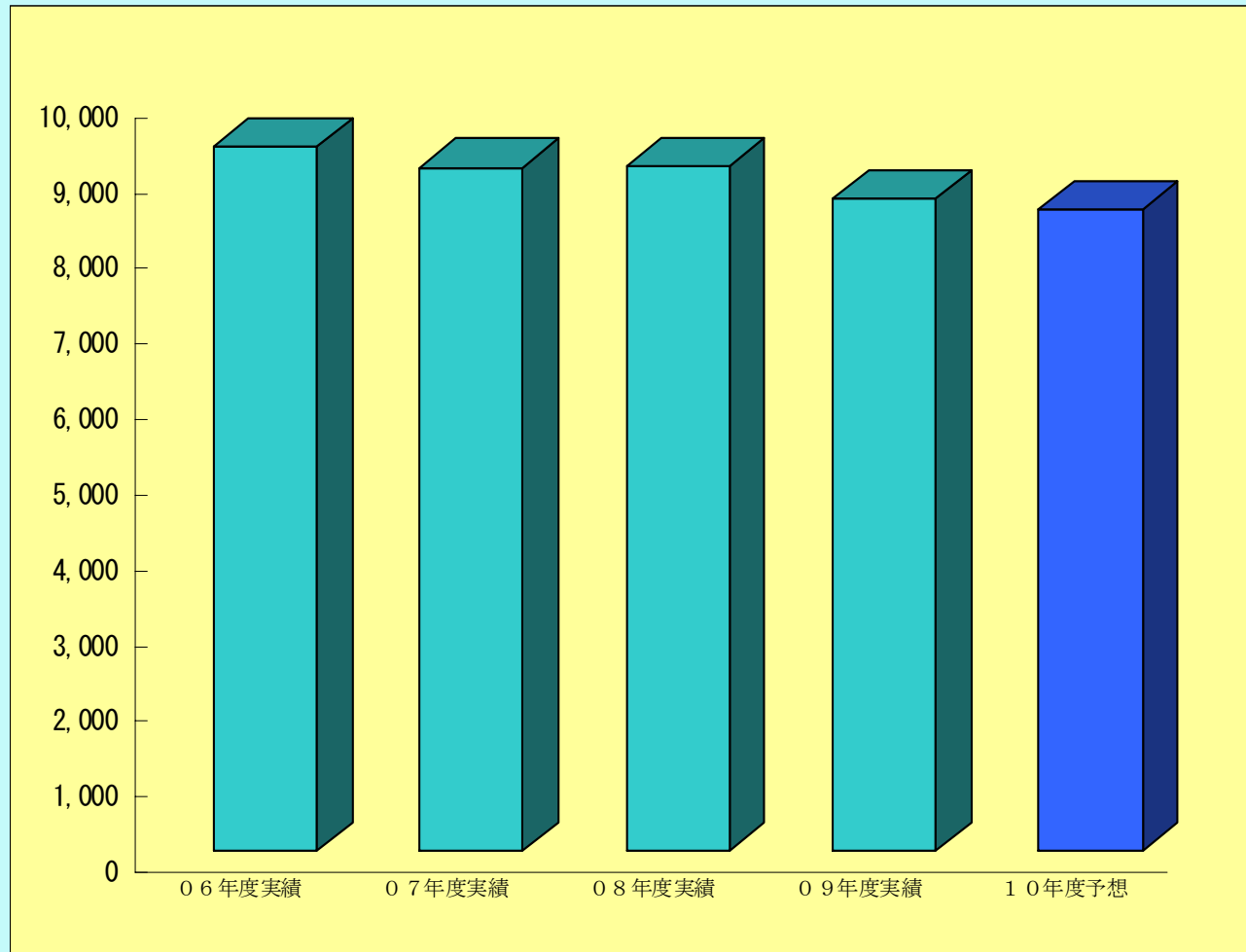
単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
営業外損益	受取利息・配当金	10.6	10.3	8.1	9.7	8.3
	その他の営業外収益	11.4	13.4	13.3	10.8	12.1
	支払利息及び手形売却損	△ 32.6	△ 48.0	△ 48.1	△ 46.1	△ 42.4
	その他の営業外費用	△ 8.3	△ 14.7	△ 5.4	△ 4.2	△ 5.0
	営業外損益合計	△ 19.0	△ 39.0	△ 32.0	△ 29.9	△ 26.9
特別損益	役員退職金廃止関連利益他	0.0	8.2	0.3	14.5	0.7
	固定資産除却損等	△ 0.9	△ 9.1	△ 56.1	△ 1.8	△ 0.2
	投資有価証券評価損等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	過年度役員退職慰勞引当金繰入額	△ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特別損益合計	△ 20.9	△ 0.9	△ 55.8	12.7	0.5

# 2010年度 通期業績予想

## 2010年度 通期の売上高予想

(単位：百万円)



### 状況と見通し

当第2四半期累計期間における売上高は、景況感に緩やかな改善傾向が見られたこともあり、本年5月に発表した業績予想とほぼ同様となりましたが、通期の当初予想85億円の達成は、今後の動向如何と考えられます。

通期の業績予想につきましては、今後の景気の先行きが不透明であり、当社を取り巻く経営環境を予測することが困難である為、本年5月に発表した予想85億円にて、業績の推移をいましばらく見極めたいと考えております。

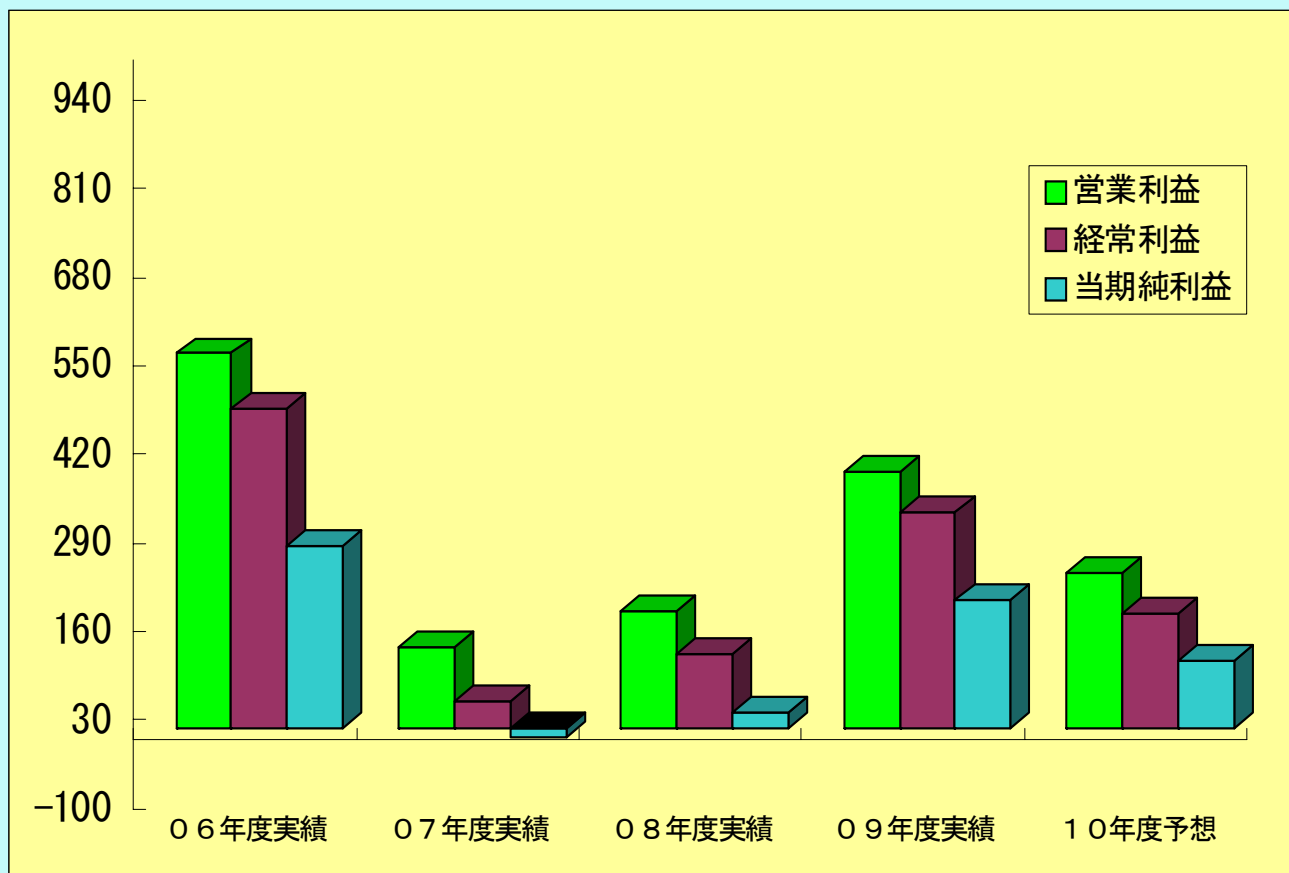
今後、状況に変化があると予想された場合は、遅滞なく業績予想の修正を行ってまいります。

単位：百万円、小数点未満四捨五入

	06年度実績	07年度実績	08年度実績	09年度実績	10年度予想
通 期	9,322.3	9,058.7	9,072.8	8,643.0	8,500.0

## 2010年度 通期の利益予想

(単位：百万円)



## 状況と見通し

当社における年間売上高の構成を見ますと、前年度実績で、上半期 36.0 億円、下半期 50.4 億円となっていることから分かる通り、恒常的に下半期、特に第 4 四半期に偏重しています。

第 2 四半期における純損失は、本年 5 月発表の当初予想より改善されましたが、第 3 四半期以降の経済環境は、不透明感の中で景気の先行きは楽観を許さない状況が続く可能性が高いと考えられます。

以上のことから、通期の利益予想については、現時点では本年 5 月発表の当初予想どおり、営業利益 2 億 30 百万円、経常利益 1 億 70 百万円、当期純利益は 1 億円を見込んでおります。

単位：百万円、小数点以下第 2 位四捨五入

	06年度実績	07年度実績	08年度実績	09年度実績	10年度予想
営業利益	551.1	118.2	172.8	376.5	230.0
経常利益	468.6	41.3	109.7	316.6	170.0
当期利益	268.3	△ 13.2	22.3	190.1	100.0